



第56号

大阪市史跡 龍虎寺遺跡 雲竜山九島院

発行所

〒550-0022 大阪市西区本田3丁目4番18号  
TEL 06(6583)2725 FAX 06(6583)0908

発行者

第二十五世住職 奥田啓知(智證)

平成二十一年春 阪神なんば線開通

# 禁煙は本人の決意しだい!

## —東京のタクシー全面禁煙—

東京都内の業界団体加盟の人タクシー約三万四千台と個人タクシー約一万八千台が一月七日より全面禁煙となりました。都内のタクシーの約九十五%にあたるそうです。この日は埼玉県と福井県でも始まり、十五都県に広がり、今後も拡大する見通しだそうです。十日には車内喫煙に立腹した客が運転手を殴る事件まで起きました。

喫煙は肺がんをはじめ、咽喉頭食道、膀胱などの癌や冠状動脈大脳、血管、呼吸器などの疾患の原因になります。また、伏流煙により周囲の人にも同様の影響を与えます。

世界保健機関(WHO)は、「たばこは予防可能な最大の疫病」と規定し、一九八八年より禁止運動をはじめ、五月三十一日を「世界禁煙デー」とし、世界各地で健康と喫煙をテーマにした催しが開かれ、「公共の場からの禁煙」が世界的潮流になっています。

仏教では、酒を禁じた不飲酒

戒(ふおんじゅかい)はありますが、喫煙に関する戒律はありません。たばこは十五世紀末にコロンブスがアメリカ大陸から持ち帰ったものが、ヨーロッパから世界に広まったからです。仏教では、喫煙については教義的には何も言っていない。極言すれば、お釈迦さまがたばこについて何も言っていないのだから、禁煙の必要はありません。

少なくとも小乗仏教は、お釈迦さまが示された戒律以外は守る必要はないとされています。私たちの大乘仏教の戒律に関しては、私たちが大乗仏教の戒律に重んずるところから、お釈迦さまが制定した戒律をすべて遵守する必要はなく、それぞれ仏教者が自分はいかなる戒律を守ろうかと主体的に判断して、その選択した戒律を守ればよいとしています。

「わかっちゃいるけど、やめられない」歌の文句じゃないけれど、たばこの害と他人に及ぼ

す迷惑を知らなから、禁煙に踏み切れないのが、愛煙家の被害を知識としては知ってはいても、腹の底からたばこの害を智慧として理解してわかったの骨の髄まで徹底してわかったのなら、迷うことなく禁煙できるはずですが、まさに「わかっちゃいないよ、やめないよ」じゃないでしょうか。

山田恵諦天台座主(平成六年示寂)は、自分は不飲酒戒を守れぬので、不飲煙戒を守っている、と、仏教啓蒙家のひろさち氏は個人的に聞いたそうです。愛煙家自身が、主体的に禁煙しようとする決意しないかぎり、たばこはやめられないと思えば、本人がやめようと思えば、たばこは確実にやめられます。因みに昔ですが、一日三十本以上の上



# 三丁目の夕陽

## 懐かしの本田界限

映画「三丁目の夕日」を観て、懐かしく昔日を思い出しました。平成八年に檀家の中村定明氏（先代弘忠和尚と本田尋常小学校で同級生）が作成された「戦前の本田の住宅マップ」（下図）を紹介します。

九島院を中心としたもので、大江薬局や釣谷内山製作所など今なお残っている家、各道路には、みこし道など通称名がついていたり、それぞれにエピソードが書かれており、借家の長尾さんが当院の男仕をされていたなど、知らないことが多々判りました。戦前の本田界限の生活ぶりが思い起こされ、当時を知るお檀家さんには懐かしいものでしょう。

### ○お願い

墓地管理費はできるだけお盆までに完納するようにお願い致します。年末に失念されますと、前年の締めができませんので。

### ○新規墓地使用者募集

新規墓地を開設しました。故郷の墓を移される方や寿塔（生前墓）分家墓をお考えの方一度お問い合わせ下さい。



## 懐かしの本田界限



2012 JUN. 10 1996

### 九島院人物列伝⑥

## 飯田直好と九島院

### — 中興の大壇越 —

当院には郷土先覚者の墓が多くあります。そのなかで筆頭にあげられるのが、飯田直好です。

飯田家は苦屋(とまや)の屋号で、代々久兵衛を名乗りました。「天下の三久兵衛」といわれた海運業者で、幕府の許可を得て、航路網は一時南洋にまでおよんでいました。飯田家の邸宅は、本田小学校の表門から南へ中央大通付近までの広大な敷地で、木津川から水を引いた庭園は、東海道五十三次を模して造られていました。

その後鎖国政策のため家運



は衰退しましたが、四代目の直好は家運復興に勤め、当時の御用米がもつばら官船だけで輸送されるのは、航路の萬全と運用の円滑を期しがたいことに着眼し、民間船舶を随時利用すべきと進言して、寛保二年(一七四二)に幕府御用差配を命ぜられ、その邸宅は御廻船御用所に指定されました。

直好は神仏に対する信仰の念が極めて厚く、真言律宗の西願寺を大坂住吉に開くほか、仏教興隆のための活動を各地で行っていました。

とりわけ、九島院の「水燈会」(俗に亀の施餓鬼とよばれた)が衰微しているのを嘆き、私財を投じて再び盛大に行われるようにしました。

この水燈会は、台風による大津波で伽藍もろとも押し潰され水定死した九島院のご開山の龍溪禅師の菩提を弔うために、御弟子の後水尾法皇が詔勅により起こされた由緒正しい施餓鬼法要です。また、荒廃した九島院の復興にも尽



力しました。九島院が今あるのは、ひとえに直好のおかげと言つてよいでしょう。

当院住職墓地の隣にある墓碑には「川口の海運業者で幕府の御用商であり官より黄金を賜り数十の大艘を造らしむ巨万の富を築くが施しを好み困窮した。また信仰の念厚く廃寺復興その数を知らず。後水尾法皇が九島院で行うことを決めた孟蘭盆施餓鬼が経済的な事情で中断されていたのを復活させ、九島院の荒廃を嘆き復興の土台を築いた」という旨を記した墓碑文が残っています。

碑文にあるように、直好の施与は騙りとられたものもあり周囲も諫めましたが、「恩恵は見返りを望むものではない。騙りとられた金品でも、回り回つてよい働きをするだろう」と意に介さなかったといえます。明和二年(一七六五)三月二十日没しました。靈譽自明本覺居士。墓碑は下寺町超心寺、西願寺九島院にあります。

九条から阪神三宮駅・近鉄奈良駅まで直通列車が走ります！

### 永代供養墓 (大亀地藏尊永代供養墓)

お墓を建ててもいずれば無縁になるから、とのお考えの方の相談を受けてきた永代供養合祀墓です。

- 継承者がいなくても安心
- 無縁になる心配がない
- お寺が続く限り供養される
- 永代位牌が位牌堂に祀られる
- 彼岸・お盆には大勢の僧侶で回向される
- ご遺骨は大亀地藏尊の蓮台下で土に帰るよう埋葬される
- 永代供養だけの方も
- 生前に依頼もできる
- 管理料は不要
- 永代志納金一霊三十万円
- 永代位牌は二種類。
- 宗旨・宗派は問いません
- お墓を整理して合祀される方もおられます

◎新規境内墓地(西区で当院だけ)も募集しています。お寺までお問い合わせ下さい。



奉納抄

○猫地藏の御堂寄進のお願い

「猫地藏の御堂の寄進」ですが、現在、五名の方より計壱万八千円のご喜捨があります。

小額でも大勢の方々よりのご喜捨でお作りするほうが、猫地藏にとっては喜ばしいので、愛猫家の方々のご喜捨を引き続きお願いいたします。

●突発性難聴

歌手の浜崎あゆみさんが、会員制サイトで左耳の機能不全を明かしました。「実は昨年、耳の検査を受けたところ、左耳はもう完全に機能しておらず、治療のすべはないと診断されたんだ」とファンにとっては衝撃的な事実を綴りました。

大音響のバックミュージックのなかで、ボーカル歌手は自分の歌声を聞くために、自分に向けたスピーカーでも大音響で聞くので、それは職業病とも言われています。

河内音頭の菊水丸さんも、朝一番のラジオ番組を担当している時、左耳が水中で音を聞いているような状態だったそうです。耳鼻科で診療したところ、治療の見込みはないと言われていましたが、番組の時間帯が移動して、最後のそのラジオ番組を終えてホテルに帰り部屋の扉を閉めた途端、治ったそうです。どうやら朝一番のラジオ番組に遅れないようにと、寝付きの悪い師匠にとっては、その番組がストレスだったようだと言っていました。

『徹子の部屋』の放送で以前聞いた話ですが、三木武夫首相夫人睦子さんも、朝起きられないくらい難聴がひどかったそうです。ところが、ご主人が亡くなったあと、嘘のように完治したそうで、どうやら、ご主人の存在がストレスの原因だったようだと言われています。

愚妻も両耳とも難聴がひどくて、昨年右耳を手術しました。右耳の難聴は少しは改善されましたが、睦子さんのようだとすれば、小生が死なないことには治らないでしょう。

浜崎あゆみさん、トキオの長瀬知也さんとの破局が難聴の原因のひとつなら、案外新しい恋人でもできれば治るのではないかと思います。

「残された右耳の限界まで歌い続ける」との彼女のプロ根性には激励の拍手を送ります



編集後記

▼新年早々、檀家のお祖父さんの白寿のお祝いの席に招かれました。元高校事務長で、さすがに足元は不安でしたが食欲は旺盛で、達者なお方でした。▼「人生七十、古来稀なり」というのは昔のこと、只今では「人生七十にして死ぬは、稀なり」の時代となりました。(先代弘忠和尚の口癖)▼百歳の禅者とテレビ放映された曹洞宗永平寺貫主の宮崎奕保殿下は百六歳

の長寿でしたが、一月五日に示寂されました。▼喜寿・傘寿・米寿・卒寿・白寿・上寿と長寿を祝われ、しかも最近まで現役で修行僧を指導されていきました。▼長寿はおめでたいことですが、かなうなら現下のように死ぬまで生涯現役でいたいものです。▼小納も今年、任職就任二十年を数えます。ようやく、任職として一人前の成人式を迎えました。四十五は鼻の小僧の世界ですが、白寿・上寿の遠い目標をかかげ、精進していきます。

山門会・お彼岸法要

3月23日(日) 午後1時半より

※ご先祖供養です。宗旨に関係ありませんご回向お申し込み下さい。

『盲導犬のあれこれ』日本ライトハウス職員・予定

ご案内